

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (杉野屋)	記録者	総務課 課長補佐
日 時	平成29年12月21日(木) 午後7時～午後9時15分		
場 所	杉野屋集落センター		
出席者	<p>町 : 町長、参事兼総務課長、財政課長、企画振興課長、健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、危機管理室長、農林水産課長、宝達志水病院事務局長</p> <p>区長会 : 杉野屋区長</p> <p>町 議 : 塚本議員</p> <p>住 民 : 47人</p>		
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(参事) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会 		
会議結果	<p>【小学校・保育所統廃合について】</p> <p>●質問</p> <p>子どもが減っていることばかり言っているが、若者が定着するようなことをしていない。以前、新聞で宝達志水町が県内でただ一つ将来「限界町」となると載っていた。若い人が住める魅力のある町にしてほしい。例えば町営住宅に何十年も住んでいたら無料になるなど、将来に備え種をまくことも考えてほしい。この地区は、保育所が1年前倒しで統廃合され、施設がへっている。このままでは、若い人が外へ出て行ってしまう。将来は統廃合もわかるが、その前にやることがあるのではないか。</p> <p>○回答(町長)</p> <p>人がどんどん来てくれて、若い人が出ていかないような住宅政策を実施していきたい。住みよいまちづくりをしていきたい。統廃合については、少なくすると親御さんたちが送迎などで難しい面が出てくると思う。現在の資料は2つに統廃合になったと場合としての資料を提</p>		

示しているが、3つになったり4つになったりになるかもしれない。

●質問

今までタウンミーティングを回ってきたが、どういう方向性を示せるか。

○回答（町長）

無理に減らしても人が減っていくとか、少人数より多人数の方がよいとか、財政的なこととか、賛成・反対の意見がある。先生方、保育士の方にも現場の話を聞いたが、子供を寄せすぎてもよくないなどいろいろな意見があります。だからといって結論が出ないことはないと思っています。子供たちにとって良い結論を出したいと考えている。来年度の早い時点で統廃合の方向性を示したい。

●質問

企業誘致の促進をして欲しい。石川県と連携してどんどん進めてお欲しい。ほかの市町ではやっているがどうか。こういうことで若い人が増えるのではないか。また、今、企業は景気が良いので企業誘致のチャンスではないか。

○回答（町長）

県とも相談、連携するなど協力して進めている。企業誘致の補助金を拡充したりしている。しかし、工業用地がなかったり、企業が来ていただける土地の造成などをしていかなければならないと考えています。今はチャンスだが、その準備ができていないのが現状あり、ハード面が遅れているので今後進めていかなければならない。国道415号とか羽咋道路の関係で町の北の方には工場がきている。インフラ整備が大事である。

【下水道使用料について】

●質問

下水道料金がほかの市町村と比べたらものすごく高い。一般会計からだせないのか。

○回答（町長）

なかなか余裕がないが、急激に安くすると事業の見直しなどを行わなければならない。財源については知恵を絞ってできる限り改定し、3月議会に提案したいと思っています。下水道料金が高くなってしまったのは、事業開始当初よりも、人口の急激な減少や国からの交付金が減ってしまったことによるものと認識している。

●質問

水道については、旧志雄町は下石からの地下水、旧押水町は手取川の県水だが、今後どうするのか。旧町の違いはそこにある。安い水道料金にできるのではないか。手取川の高い水ではなく安くおいしい水にしてほしい。旧町が納得できるようようにしてほしい。

○回答（地域整備課長）

水道水については、旧押水は県水と森本に井戸があり併用している。旧志雄は下石には5つの井戸があり、今年度1本掘りなおしている。今後、県水については、耐震化進めている。こちらの方に来るのは平成30何年度とまだわからない。井戸にするのか県水にするのか今後の計画を策定していく中でどちらにするか決めていかなければならない。

●質問

人が減っていくと使用量が減っていく。安い水を使っていく選択肢があるのではないか。県水については、県と折衝して安くしてほしい。

○回答（町長）

県から使用してほしい量を言われている。少なくしてほしい旨のことは各市町と県に伝えている。

●意見

割り当てがあると人口が減っても高くなってしまう。県にちゃんと伝えてほしい。

【各集落からの要望事項】

◆自主防災について

○回答（危機管理室長）

災害時には、初動体制が最も重要とされており、本町でも情報伝達手段の一つとして防災行政無線等を活用しております。

町では、町内83箇所に防災行政無線の屋外拡声子局（スピーカー）を整備し、平成26年4月から運用しています。

屋外拡声子局は、基本的に各地区会館に設置し、音達できない場合は地区により複数の子局を設置しています。

杉野屋地内では、「杉野屋集落センター」と「しお児童クラブ」前に2基を設置しています。

屋外拡声子局を増設する場合は、立地的な問題（電界強度や音の反響等）もあり、バランス良く設置するため、周辺集落や校下など全体で考える必要があります、早急に増設することは非常に困難であります。

また、自然条件などにより放送内容が聞き取りにくい場合は、同様

の内容を下記の情報伝達で確認をすることができます。

- ①「メール配信サービス（安心ほっとメール）」
- ②「ホームページ」
- ③「ケーブルテレビ」
- ④「電話応答装置 Tel 29-2288」

一度、ご確認ください。

次に、昨年度までは体験型訓練が中心であった町防災訓練を、今年度から町民自身のより実践的な訓練として、安全行動訓練、避難訓練、情報伝達訓練等を実施させていただきました。訓練を通して課題が浮き彫りになり、その課題をより最善な方法で解決していくためには、同様な訓練を繰り返し、繰り返し実施することが重要かと存じます。また、訓練を通して職員体制の確立、訓練課題の克服、住民の防災に関する気運の向上なども図ることができると考えております。

町としても集落と連携し、自助・共助・公助が一体となった訓練を実施するため、来年度の町防災訓練を平成30年7月22日（日）に実施することを早めに決めさせていただきました。訓練の内容については、これから検討していきますが昨年と同様な訓練の他、新たな訓練も取り入れ、より実践的な防災訓練を実施して、住民の更なる防災意識の高揚を図っていきたいと考えております。

安全・安心な町づくりの構築のためには「自助・共助・公助」の連携は必要不可欠であります。中でも、災害時の第一歩は自助・共助は大切であり、現在、町では防災士の育成や自主防災組織の設立に力を入れており、是非、杉野屋区のみなさまには防災の気運を高めていただき、自主防災組織の設立をご検討いただき地域ぐるみで防災体制の強化を図っていただきますよう、よろしく申し上げます。

●質問

杉野屋区民はどこに避難すればよいのか、知っていないと思う。来年度は自主防災組織を結成したい。また、防災無線は非常に聞きにくい。

○回答（町長）

防災無線が聞こえにくい場合などに備えて、ぜひとも安心ホットメールに登録していただきたい。メールの受信で情報を得た人が持たない人に教えて、助けてあげてほしい。災害のニュースもそうだが不審者情報とかも配信しているので是非とも登録してほしい。

◆福祉施設の誘致について

回答（健康福祉課長）

団塊の世代の方が75歳となる10年後に向けて、「託老所」等の高

齢者が集まる居場所はますます必要と考えます。

「託老所」に類似した「介護保険のデイサービス」は、志雄地区に2ヶ所（定員40人）、押水地区には4ヶ所（定員90人）あります。

介護保険のデイサービスについては、介護認定を持っていれば、羽咋市にある4ヶ所のデイサービスを利用することも出来ます。

民間企業・介護事業所・地域の有志等と連携しながら、高齢者自身も担い手として生きがいを持って通うことが出来るような、年齢やニーズに応じた地域の居場所づくり（サロンづくり）、町づくりを協議していきたいと思います。

また特別養護老人ホームにつきましても、今後の要介護認定者の推移や待機状況等を十分に考慮し、10年後を目途に、必要な施設等の建設について、協議していきたいと思います。

◆少子化対策について

○回答（健康福祉課長）

杉野屋区には旧北部保育所があります。旧北部保育所は、平日は児童クラブとして使用していますが、土曜日、日曜日、祝日は児童クラブを閉所していますので、それらの日に限っての園庭の解放を施設の管理上の問題点も含めて、多面的に検討したい。

●質問

2年前にも要望を出したが、杉野屋だけ特例は認められないと言われた。遊具のメンテナンスなどの問題があり難しいと言われた。他町には良い公園がいろいろある。本町も既存の施設を使用できればいいと思うし、ちょっとした工夫でそれはできると思うが。

○回答（参事）

児童クラブの管理者と協議して前向きに検討したい。

◆ほ場整備について

○回答（農林水産課長）

当町の圃場整備率は、大区画化整備対象面積が1,144haありそのうち整備済面積が909haであり、79.5%となっている。

現時点での整備に関する重要なポイント・必須条件及び注意点等については、政府は農業の成長産業化のためには、担い手への農地利用の集積・集約化が極めて重要であり、平成35年度までに担い手への農地利用の面積シェアを8割に引き上げる政府目標を設定しています。

今後、高齢化の進行等に伴い、農地中間管理機構への貸付けが増加することが見込まれますが、基盤整備が十分に行われていない農地については、担い手が借受けない恐れがあります。

一方、農地中間管理機構に農地を貸付けた所有者は基盤整備のための費用を負担する用意はなく、このままでは基盤整備が滞り、担い手への農地の集積・集約化が進まなくなる可能性があります。

こうした中で、農地の担い手への集積・集約を加速化するためには、農地中間管理機構とは場整備事業の連携が不可欠であり、今般、農業者からの申請・同意・費用負担によらず、都道府県が基盤整備事業を実施できる制度（以下「機構関連事業」という。）が平成 29 年 5 月に創設されました。

●機構関連事業の採択 5 要件

1. 対象農地の全てに農地中間管理権が設定されていること
2. 各団地が一定規模以上、かつ一定要件に適合すること
3. 機構の借入期間が一定期間以上あること
4. 担い手の農用地の集団化が相当程度図られること
5. 事業実施区域の収益性が相当程度向上すること

●機構関連事業の負担割合

国 62.5% 県 27.5% 町 10.0% 受益者 0%となっています。

◆豪雨による水害対策について

○回答（地域整備課長）

平成 26 年 8 月に発生しました当区の浸水被害におきまして、町では平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月にかけて、「杉野屋地内冠水対策調査検討業務」を実施し、地元関係者の意見、要望などをお聞きし、検討してまいりました。

業務期間中においては区長さんを始め、関係者の皆様方にご出席いただき協議しておりましたので、対策方針等については、概ねお伝えしておりますが、実施には至っておりません。

また、冠水被害後の平成 26 年 9 月には国道交通省に対し、国道 159 号横断ボックスの改修等について要望しましたが、国での対応は不可との回答でした。そこで、再度、本年 5 月に国に何らかの補助事業の活用方法はないものか確認しましたが更なる課題、検討、費用が伴う結果であり、なかなか進まない状況であります。

対策につきましては、多額の費用が必要であり、また、町としても他地区（柳瀬、吉野屋、今浜、北川尻、門前など）において同様の冠水、浸水被害がありますことから、時間を要していることにつきまして、大変申し訳なく思っております。

なお、本年 7 月の梅雨前線豪雨において、総降水量が 300 mm を超えたにも関わらず、当地区のみならず他地区においても冠水しなかった地区があったことやいつものように冠水した地区もあります。

冠水がなかった地区においては、河川改修や側溝改修等で一定の成

果があったものと考えており、また、ため池等の水位の管理等において地元の方々のご協力により、冠水に至らずに済んだのではないかと推測しております。

改修工事の実施については、以上のことを踏まえ、本町全体におきまして多額の費用が必要であり時間も要するため、引き続き、関係集落と協議し、調整していかねばならないと考えております。

●意見

床下浸水になって、役場に電話したが、浸水が引いてから職員がきた。町民に対しての対策がないと感じた。すぐ来て土のうを積んでほしかった。そのあと石灰を置いて行ったが、担当ではないと言っていた。

○回答（参事）

その職員は、町民に対して大変印象が悪い行動をとってしまった。
（町長）

夜間早朝にあっても職員の対応能力を身に付けるよう取り組んでいきたい。

●意見

河川改修を一度にやると財政的にも負担がかかり無理だと思う。国道の下の断面がどうか。取付けの断面がどうかをもう一度調査して欲しい。ネックとなる部分を重点的に改修してほしい旨を以前から要望している。国・県に絡んだことなので要望してほしい。

○回答（町長）

関係機関にも働き掛けていきたい。

【フリートーク】

●意見

選挙投票所について、区に説明もなく変更された。以前、投票所を変更してほしいといったが、変更したものは駄目だと言われた。杉野屋集会所を投票所に変更してほしい。

○回答（町長）

投票所については選管が決めるものです。

●意見

押水クリニックに通っていたが閉鎖になった。空き施設を子供たちのために使ってほしい。施設を貸して利用料をとって、その利用料を子供たちに還元してほしい。また、職員は町民の方を向いて仕事をしてほしい。

○回答（町長）

使える施設は何らかに使いたいと考えている。皆さんの思いをもつ

て職務にあたりたい。

●質問

国道159号のバイパスの進捗状況はどうなっているのか。

○回答（地域整備課長）

羽咋のほうで平成20年度に採択になって、二口地区で巾杭の設置まで行っている。町内の工事着工については、まだ数年後になると思われる。

●質問

小学生の子供をもつ親として、資料を見ていると人口がだんだん減っていくことになることがわかる。統合に関して、資料を見る限り子供ことを考えれば統合をした方がいいのではないかと思うが、地域との連携も必要なので難しいことだと感じている。今後アンケート実施すると新聞で見たがどうするのか。アンケートをとるときは方向性を示していただいた方がわかりやすいと思う。

○回答（町長）

数字だけやお金のことを考えての統合はやらない。地域の歴史などいろいろ考えていきたい。アンケートは実施するが今中身を精査して行っていきたい。

●質問

志賀原発の30キロ圏内には宝達志水町が入っている。志賀町は街灯などが無料だと聞いている。事故が起こればここも被害は同じである。原発立地の地元には恩恵があるが本町にはない。志賀町と同じようになるように頑張ってもらいたい。

○回答（町長）

どういったお願いができるかわからないが、考えていきたい。

●意見

町長は若いので今後も頑張ってもらいたい。